

第 1 回パークレンジャー養成講座

「パーククララを知ろう！」

講師：殿元 日出夫



4. 話し合いのルールを決めよう

この講座は、何度も受講生で話し合う機会があります。そこで、グループに分かれて話し合いのルールを決めました。

話し合いのルール

- ・話し合いのテーマを共有しよう
- ・ルールはみんなで作えよう
- ・活発な議論をするための反論はOK (否定はしない)
- ・人の意見を最後まで聞こう
- ・みんな発言する機会を持とう
- ・話しやすい雰囲気を作ろう (頷く、拍手をする、目を見る)
- ・価値観の違いを共有しよう
- ・話す時間はコンパクトに
- ・話が苦手な人には少しだけアシストしてあげよう
- ・意見をまとめる時間を持とう
- ・楽しんで話し合いをしよう

5. オリエンテーション

パークレンジャー養成講座を行うにあたり、公園の概要や講座の概要、受講の約束等の説明がありました。受講の約束は基本的なことですが、受講生全員が楽しく講座を受けるために必要なことをみんなで共有しました。

6. 講義：パーククララを知ろう！

午後からは、泉佐野丘陵緑地パーククララ殿元日出夫会長の講義を受けました。まず、地図を元に現状の公園の様子をお話し頂きました。そして、パーククララの目的や活動内容・基本方針、2011 年のパーククララの活動結果、2012 年の活動方針について聞きました。休憩後、パークレンジャーが撮影したイベントのビデオを鑑賞しました。最後に、パーククララや公園についての受講生からの質疑応答の時間を設け、講座は終了となりました。みなさんメモを取りながら真剣にお話しを聞いていました。

7. 閉会

最後に次回の案内を行い、アンケートをご記入いただき、この日のプログラムは終了となりました。

《主な感想》

- ・公園の概要やパーククララの考えかたなど、よく理解できました。今後、より理解を深めていきたいです。
- ・みんなで作る公園づくりこれから楽しみです。
- ・会長による丁寧な抗議で、パーククララの概要がよく理解できました。講座終了後の活動を目指して頑張りたいと思います。
- ・経験豊かな方々と一緒に受講できて嬉しいです。

1. 挨拶

大阪府岸和田土木事務所の窪田所長より挨拶がありました。

「11 回という長丁場の養成講座ですが、専門家の先生の講座を受け、たくさん技術や知識を学んで頂けたらと思います」と激励の言葉が贈られました。



2. アイスブレイク：自己紹介、グループ分け

「アイスブレイク」という緊張を和らげるゲームを通じて自己紹介とグループ分けを行いました。自己紹介は 2 人一組になり、握手をしたあとに「名前」、「所属」、「最近気になっていること」について、5 人の方と紹介しました。グループ分けは、「アイスデザインチェーン」というゲームを通じて行いました。言葉を交わさず、身振り手振りだけで誕生日順に並んでいただき、4 つのグループに分かれました。



3. 自己紹介

グループ内で再度、自己紹介を行いました。「名前」、「所属」、「最近気になっていること」に加え、「趣味や特技」、「養成講座に対する意気込み」について紹介しました。



第2回パークレンジャー養成講座

「公園を探索しよう！」

講師：川口 裕之



第2回パークレンジャー養成講座を行いました。この日は19名の受講生が集まり楽しく講義を受けました。

1. 前回の振り返り

はじめに、前回の内容を振り返りました。「話し合いのルール」や殿元会長の講義内容を振り返りました。

2. 知恵の輪、キャッチボール、インタビュ

次は川口講師(NPO法人Kid'sまげっつ)によるロープやタオルを使ったゲームプログラムです。タオルを使ったゲームプログラムは、円陣になり、渡す人の名前を言うことから、その方へボールを渡す内容です。2回目の講座ということもあり、まだお互いの顔と名前があまり一致していませんが、このゲームを通じて名前を覚えることができました。その後、「30cm 以上の魚を釣ったことがある人」や「全国の県庁所在地が言える人」など、〇〇をしたことがある人、というテーマでインタビュを行う自己紹介ゲームを行いました。インタビュした内容は、最後に発表しました。流れ星を見たことがある人、たぐさんの国に行ったことがある人、テレビに仕事の関連で出たことがある人など、仲間の意外なプロフィールを知ることができました。



3. できること、できないこと、すべきこと、すべきでないこと

グループに分かれて公園の中で「できること、できないこと、すべきこと、すべきでないこと」について議論しました。

<p>【できること】</p> <ul style="list-style-type: none"> 公園の広報 大工仕事、力仕事 植木の剪定 草むしりや清掃 園芸 人とのコミュニケーション タケノコ掘り 案内板の制作、取付け 動植物の調査、保護、育成 	<p>【できないこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> 多国語による園内案内 力仕事 鳥、虫、花の紹介 植物の育て方、管理の知識 表現力、説明が苦手 救命処置 工作
<p>【すべきこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> 公園のPR活動 来園者の安全確保 救命体制の整備 樹木の病気の治療 間伐作業 協調性をもつこと 安全な環境づくり 楽しめる場所にする 挨拶をする 	<p>【すべきでないこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> 危険な遊びを見逃す 迷惑行為 計画性のない作業 自分勝手な行動 他人の批判 ワナを守らない 草木を傷つける 自己中心的にならない 相手に押し付けけない

4. 健康度チェック

午後からはバスに乗って現地へ行きました。現地へ向かうバスの中では、「健康度チェック」を行いました。「枝ぶりのいい木があると、登りたくなる」などの30個の質問があり、あてはまる項目が多いほど、その人の「野生度」が高いというチェックでした。

5. 水辺の広場の探索

公園に着いてからは、郷の館で午後のスケジュールを確認しました。その後、水辺の広場に移動し、動物あてクイズというゲームをしました。背中に動物カードをつけ、自分が何の動物カードがつけられているかをあてるゲームです。「動物園にいるか」「哺乳類か」など質問をして質問力を磨きました。ゲームの後には参加者それぞれ公園について感じたことを曼茶羅にまとめ、発表しました。晴天の中の探索でしたので、風や太陽、水辺など、自然を大切に作る公園づくりのイメージを共有できました。

6. 閉会

最後に次回の案内を行い、プログラムは終了となりました。

《主な感想》

- 公園でのイベントで子供たちとの関わり方が勉強になった。
- リラックスできる遊びができ、楽しみな参加できた。
- 思っていた以上に自然が残っており、素敵なお所だった。
- 公園を実際に見てイメージが膨み、意欲がわいた。
- 前回より一層お互いを知ることができ、有意義だった。



第3回パークレンジャー養成講座 「公園のテーマ、理念を共有しよう！」 講師：増田 昇



第3回パークレンジャー養成講座を行いました。この日は18名の受講生が集まり、楽しく講義を受けました。

1. 前回の振り返り

今回の講座は午前中から公園での講義でした。そこで、集合した後、すぐにバスで公園に向かいました。その車中では、前回の講座を振り返りました。前回は、交流を深めるゲームや受講生どうしが意見交換した内容、水辺の広場での活動等を振り返りました。

2. リーディング区域・コラボレーション区域について

現地の入口付近で、大阪府の勝山さんより大判の地図を広げながら公園整備についてご説明頂きました。この公園は東地区、中地区、西地区の3つの地区に分かれています。なかでも中地区は、行政が中心となって整備を進めるリーディング区域と府民と大阪府が協働で整備を進めるコラボレーション区域の2種の区域があります。現在、リーディング区域では、駐車場やパークセンター等の整備が進められています。一方、コラボレーション区域ではパークラゾが中心となって、竹の間伐作業や園路整備を行っています。現在講座を受講している皆さんも、パークレンジャーとなれば、このコラボレーション区域で活動することになります。



3. 現地散策

公園では、レンジャー広場に集合した後、パークレンジャーの宮下さん、殿元さんに公園を案内して頂きました。第2回の養成講座では水辺の広場を中心とした講座でしたが、今回は谷口池周辺のササユリの群生地、今後整備予定の山中、バンゾー広場やネジキ池周辺など、中地区のほぼ全域を見ることができました。ヤマモモやヤマザクラなど、様々な植物が混生していることも知ることができました。また、散策途中に宮下さん、殿元さんにパークレンジャーのこれまでの活動内容や、苦労している点、これからどんな活動が行われていくのか等を楽しくお話し頂きました。その結果、パークレンジャーの活動内容に対して理解を深めることができました。ワッツを持ち、現在地を確認しながら歩くことができたので、公園の位置関係や広さも感じることができました。

4. 講義

午後からは、増田先生(大阪府立大学大学院)による講義です。「みどり大阪推進計画」、「都市公園の役割」、「里地里山の保全」、「(仮称)泉佐野丘陵緑地の理念、テーマ、活動イメージ」、「泉佐野丘陵緑地の公園運営について」、「他の公園の事例」等、公園づくりの基本となるお話を頂きました。この公園が都市公園であり、自然公園や国民公園ではないことや、ゆくりと整備を進め、これから先もじっくりと時間をかけてつくり続けて行く公園であることなどのご説明頂きました。そして、この公園の歴史的背景や4つの理念、全体のテーマなどを詳しく聞くことができ、公園について理解を深めることができました。

5. 閉会

最後に次回の案内を行い、この日のプログラムは終了となりました。

《主な感想》

- ・今まで見えていなかった中地区の全体像が見られてよかったです。整備に関して具体的なイメージが持てた。
- ・パークレンジャーの説明で、原野開拓の苦労が大変理解でき、現状の課題の一部が確認できた。
- ・生態系は植物、動物のサイクルが守られてこそ成り立つことが理解できた。
- ・本日の講義を受け、公園をつくるプロセスは非常に時間がかかるということが実感できた。



第4回パークレンジャー養成講座 「みんなで森を育てよう！」 講師：伊藤 孝美



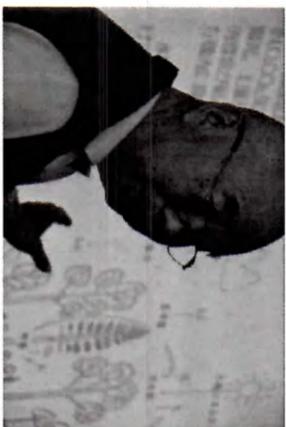
第4回パークレンジャー養成講座を行いました。この日は 16 名の受講生が集まり楽しく講義を受けました。

1. 前回の振り返り

今回は、工区事務所の 2 階で講座を行いました。はじめに、前回の内容を振り返りました。

2. 他已紹介

次に、2 人 1 組になりインタビュー形式でペアの名前やあだ名、生年月日を開く「他已紹介」というアイスブレイクを行いました。1 対 1 のペアとなり、「最近関心を持っていること」、「自慢話」、「悩み」等を聞きました。他已紹介を通し、ペアの方の新しい一面を知ることができました。家庭菜園をされている方も多く、みなさん共通の話題を見つけただけでも盛り上がっていました。似顔絵に苦戦されていたりしゃる方もいましたが、みなさんペアの方の似顔絵を描いて頂きました。最後に 3 名の方にペアの方のプロフィールを紹介して頂き、アイスブレイクを終了しました。



3. 講義：里山の機能とその現状

森林生態系を専門とされており、桜の通り抜けで知られる造幣局の通抜け桜樹研究会の委員を務めてらっしゃる伊藤先生に「森林生態系」、「環境形成の作用」、「生物間の相互作用」、「共生の例」、「竹の浸食」、「竹の見分け方」等についてお話し頂きました。樹林の基本的な話から専門的な話まで、幅広く興味深いお話をしていただきました。

4. OXクイズ

現地に向かうバスの中では、今までの講義内容や話し合いのルール、泉佐野丘陵緑地の 4 つの理念を振り返る OXクイズを行いました。

5. 準備体操

現地に着いてからは、まず、自己紹介を兼ねた準備体操を行いました。それぞれが名前を言いながら体操を行い、最後に誰がその体操をしたかを当てるゲームを行いました。

6. 竹の間伐体験

その後、2～3 人 1 組となり、6 つのグループに分かれてバベンナー広場に移動しました。間伐作業を行う前に、伊藤先生からお手本となる間伐方法を教わりました。また、竹の成長年数の把握の仕方についても教わりました。倒れる方向に気を付け、各グループ声を掛け合いながら作業ができました。どうすれば手際よく、安全に作業を進めていけるのかをひとつひとつ確認しながら作業を進めました。

7. 講義：里山について

竹間伐を効率よく進めることができたので、作業後に郷の館に移動し、伊藤先生に午前中の講義から、竹について詳しく解説頂きました。また、森のなりたちや里山のことについてもお話し頂きました。

8. 閉会

最後に次回の案内を行い、プログラムは終了となりました。

《主な感想》

- ・森林生育や環境作用による自然界の仕組み、森林の効果な里山は「農用林」だという説明がわかりやすかったです。
- ・竹の間伐を体験し、のこぎりの使い方を学びました。間伐の大変さがよくわかりました。

